



新
宮

晋

Susumu Shingu : Sculpting with Wind

2022.11/13 (Sun) - 11/20 (Sun)

1986年 兵庫県立近代美術館で「呼吸する彫刻たち」という
展覧会を開き、この時 室内の空気の流れて動く軽量彫刻を
初めて発表しました。

以来現在まで作り続けてきましたが、東京ではほとんど
展示されたことがなかったように思います。

この機会に新作をご覧頂けたら、大変うれしく思います。

新宮晋

ippodo gallery

新宮 晋 - 風の彫刻 -

Susumu Shingu

POST CARD

2022.11/13 (日) - 11/20 (日) 11:00-18:00 *会期中無休 ●作家在廊日: 11/13 (日)

電話かメールにて事前にアポイントをお願いいたします。

建築家レンゾ・ピアノは、「風は目に見えないが、新宮はそれを知覚可能にする。水は一瞬のエネルギーだが、新宮はそこに形を与える」と新宮晋を評し、世界で共に仕事をしてきた。

新宮は抽象画から動く立体作品を創り、風の彫刻家と称されている。

今回、銀座とニューヨークの一穂堂で平行企画が実現した。

2023年には大阪中之島美術館にてレンゾ・ピアノとの二人展が開催される。

新宮晋は風や水だけでなく、人々の心を動かそうとしている。

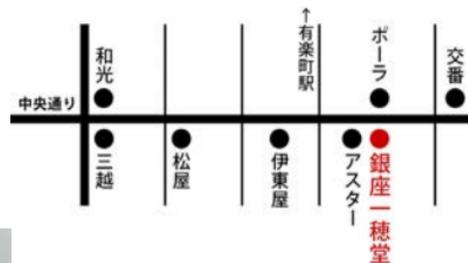
一穂堂 青野 恵子

新宮 晋 Susumu Shingu

1937年大阪生まれ。東京芸術大学絵画科を卒業後イタリアに留学。6年間の滞在のうちに平面から立体へさらに動く造形へと移行。以来風や水といった自然エネルギーで動く彫刻を世界各地に作り続けている。1971～72年ハーバード大学視覚芸術センター客員芸術家。2000年6月から2001年12月にかけて、地球上6ヶ所の自然の風景の中に彫刻を設置し各地の人々と交流をはかる「ウインドキャラバン」を企画、開催。その活動により第43回毎日芸術賞特別賞受賞。2002年紫綬褒章、2010年旭日小綬章受章。2014年に兵庫県立有馬富士公園休養ゾーンにオープンした「新宮 晋 風のミュージアム」には、風で動く彫刻13点が常設展示されていて、ここを舞台に2回の野外パフォーマンスを展開している。2016年から2017年にかけて、長崎県美術館、横須賀美術館、兵庫県立美術館で個展「新宮 晋の宇宙船」を開催。2018年にはルクセンブルク国立現代美術館で個展「Susumu Shingu - Spaceship」2019年から2020年にかけてフランス・シャンボール城で個展「新宮 晋 - 現代のユートピア」。絵本作家としても知られ、舞台作品も発表している。



料金別納郵便



銀座駅：A13出口 銀座一丁目駅：9番出口

銀座一穂堂

〒104-0061

東京都中央区銀座1-8-17 伊勢伊ビル3F

tel: 03-5159-0599

mail: tokyo@ippodogallery.com

www.ippodogallerytokyo.com/ja/